(C)十勝毎日新聞社

10月の「うらほろマラソン」
十勝最長の35キロ新設

【浦幌】「うらほろマラソン２０２３」が10月８日、うらほろ森林公園で開かれる。昨年に続く２年目の開催で、今回は管内最長となる35キロランを新設するほか、同公園で出店する飲食店数を40程度と大幅に増やすなど、内容を充実させる。昨年の倍となる４０００人以上の来場を目指しており、実行委員会は「浦幌の自然の豊かさ、魅力に気付く機会になれば」と意気込む。

実行委は町、町教育委員会、町体育協会、町観光協会などで組織。大会運営の実務を一般社団法人十勝うらほろ樂舎が担う。

うらほろマラソンは、昨年６月に初開催。子どもから大人までの幅広い世代がマラソンやウオーキングのほか食を楽しんだ。マラソンランナーで「株式会社I」代表を務める大迫傑さんが大会前に浦幌でコースを試走するなどし、企画に携わった。

今回からはコロナ禍による行動制限がなくなったため、規模を拡大。大人のマラソンは全国の高校生以上が対象で、15キロのラン・ウオークのほか、５キロウオーク、35キロランを新たに加え計４部門。子どものマラソンは全道の小学１年～中学３年を対象とし、開催日30日前から参加者自身が計画を立てて少しずつ走ってもらい大会当日を迎える。

また会場では大会前日の10月７日に前夜祭を行い、公園でのテント泊などを受け入れる予定。飲食店は町内外の事業所が出店する予定で、食を楽しめるイベントとしても打ち出す考えだ。

実行委事務局の十勝うらほろ樂舎は「多くの参加を」とPRしている。大会のエントリーは１日から大会特設サイト＝QRコード＝で始まっている。問い合わせは十勝うらほろ樂舎（０１５・５７６・３７７２）へ。（本田龍之介）